

O b u k u r o

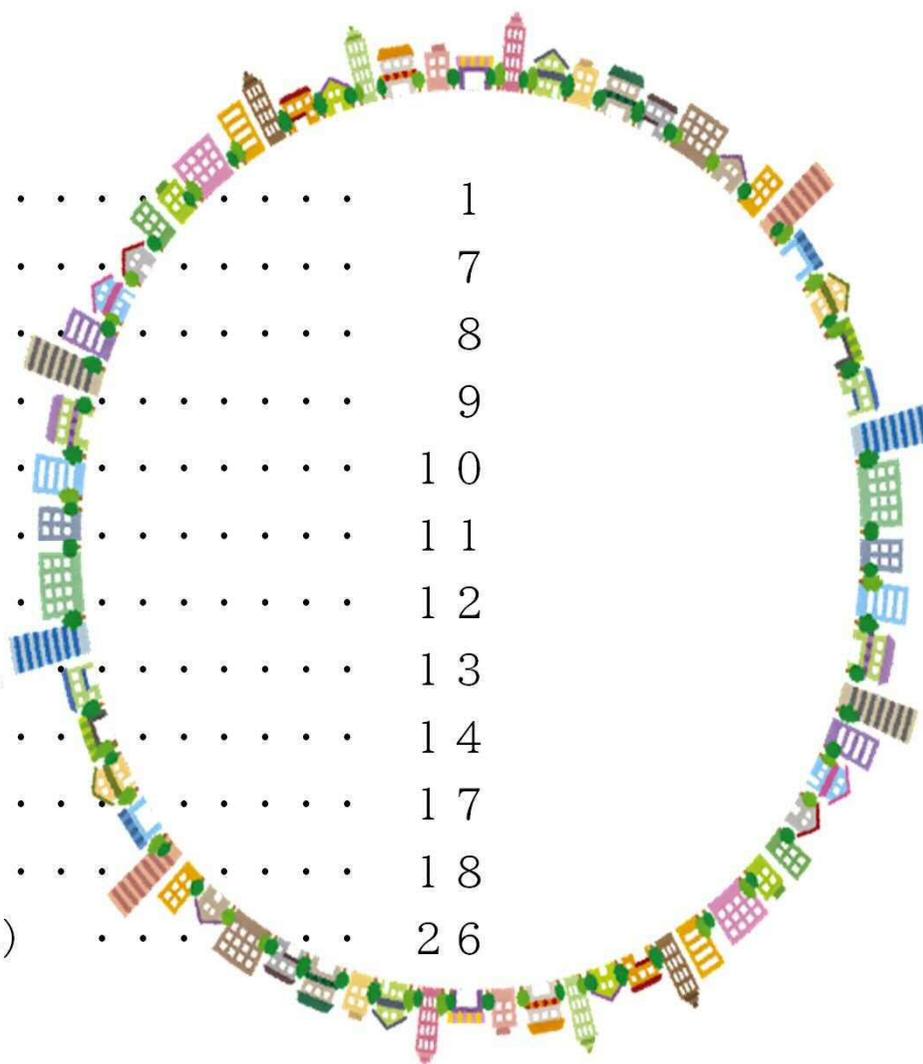
East Gate Town

Material

大袋駅東口周辺地区まちづくり構想2022 資料編
(大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会)

目次

・大袋駅東口周辺地区の活動経過	1
・現況の課題整理図	7
・現況の道路状況	8
・人身事故の発生状況	9
・桜井地区まちづくり会議提言書	10
・大袋地区まちづくり会議提言書	11
・第5次越谷市総合振興計画への反映状況	12
・越谷市都市計画マスタープランへの反映状況	13
・駅前広場の検討状況	14
・アクセス道路等の検討状況	17
・まちづくりニュース（創刊号～第4回）	18
・地区のなりたち（明治17年頃から令和3年）	26



大袋駅東口周辺地区の活動経過

和暦（西暦）	組織	内容
平成17年(2005年)	大袋駅東まちづくり協議会	準備会の立上げ
平成18年(2006年)		地区の現状・課題についての講義
		越谷市へ要望書の提出
		まちづくり講座（まちづくり手法、先行事例）の開催
平成19年(2007年)		まちづくり講座（地区の長所・短所の洗い出しに係るグループ討議）の開催
		まちづくり講座（まちづくり構想図、学生視点からの意見聴取、実現化手法）の開催
		まちづくり講座（まちづくりの必要性と可能性、視察予定地の概要確認）の開催
平成20年(2008年)		視察（大泉学園駅、保谷駅、ひばりヶ丘駅、東久留米駅、清瀬駅）、視察結果に係るアンケート調査の実施

和暦（西暦）	組織	内容
		まちづくり講座（現地視察の報告、視察結果に係るアンケート調査結果の報告）の開催
		まちづくり講座（土地利用計画、事業手法などのまちづくりに係る今後の検討）の開催
平成21年(2009年)		まちづくり講座（専門家による講義（まちづくりに対する質問など））の開催
		まちづくり講座（専門家による講義（まちづくり事例、合意形成など））の開催
		まちづくり講座（専門家による講義（まちづくり事例、地区の範囲など））の開催
		まちづくり講座（大袋駅東地域の長所、改善すべき所の整理）の開催
平成22年(2010年)	袋山まちづくり審議会（平成22年より統合）	勉強会（大袋駅西口線の進捗、大袋駅舎の建設計画、大袋駅東まちづくりの取り組みについて）
平成23年(2011年)		勉強会（越谷市総合振興計画等の越谷市上位計画に係る当地区の説明）、専門家による講演（後世に引き継ぐまちづくり）
平成24年(2012年)		勉強会、専門家による講演（これからの大袋東口のまちづくり）
平成25年(2013年)		勉強会、専門家による講演（これからの大袋東まちづくりー未来へー）

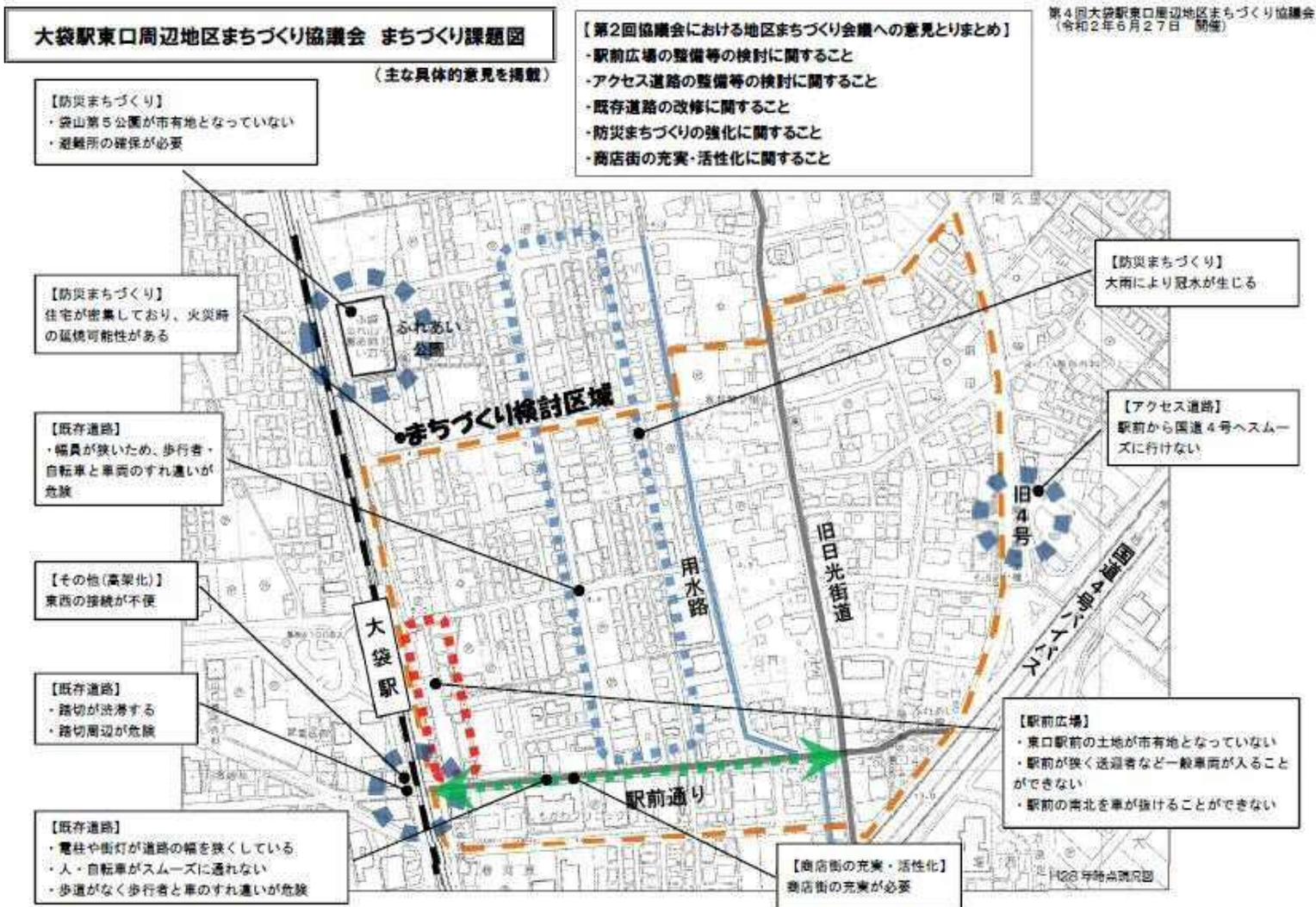
和暦（西暦）	組織	内容
平成26年(2014年)		大袋駅東口の商店街通りの街路灯架け替えに伴う民地内移設の要請（権利者に対して実施）
		東口駅前東武鉄道株が所有する土地について、東武鉄道に対して活用意向確認及び協議会活動を報告
平成28年(2016年)		関係自治会長及び大袋東まちづくり協議会にこれまでの経過と今後の進め方を説明
平成29年(2017年)	大袋東まちづくり協議会	アンケート調査の実施
平成30年(2018年)		大袋駅東口周辺地区まちづくり懇談会の開催
	大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会準備会	大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会の立ち上げに係る準備
令和元年(2019年)	大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会	まちづくりに係る課題に係るワークショップの実施、大袋・桜井地区まちづくり会議への意見書のとりまとめ
		桜井地区まちづくり会議、大袋地区まちづくり会議への意見書の提出
令和2年(2020年)		先進地視察（草加市谷塚駅西口地区）の実施
		地区まちづくり会議に提出した意見書等の報告、先進地視察結果の報告

和暦（西暦）	組織	内容
		大袋駅東口周辺地区まちづくりニュースの発行（創刊号）
		駅前広場の整備の検討
		先進地視察（東京都足立区五反野駅等）の実施
		先進地視察の報告、駅前広場の整備の検討
		大袋駅東口周辺地区まちづくりニュースの発行（第2回）
		駅前広場の方向性（コンセプト）の決定、駅前広場の位置と範囲の検討
令和3年(2021年)		専門家による講演（駅前広場へのアクセス道路の考え方について）、駅前広場の整備の検討
		先進地視察（埼玉県宮代町・杉戸町、東武動物公園駅西口・東口及びアクセス道路）の実施
		大袋駅東口周辺地区まちづくりニュースの発行（第3回）
		先進地視察の報告、越谷市総合振興計画・都市計画マスタープランに係る意見書の反映状況の報告

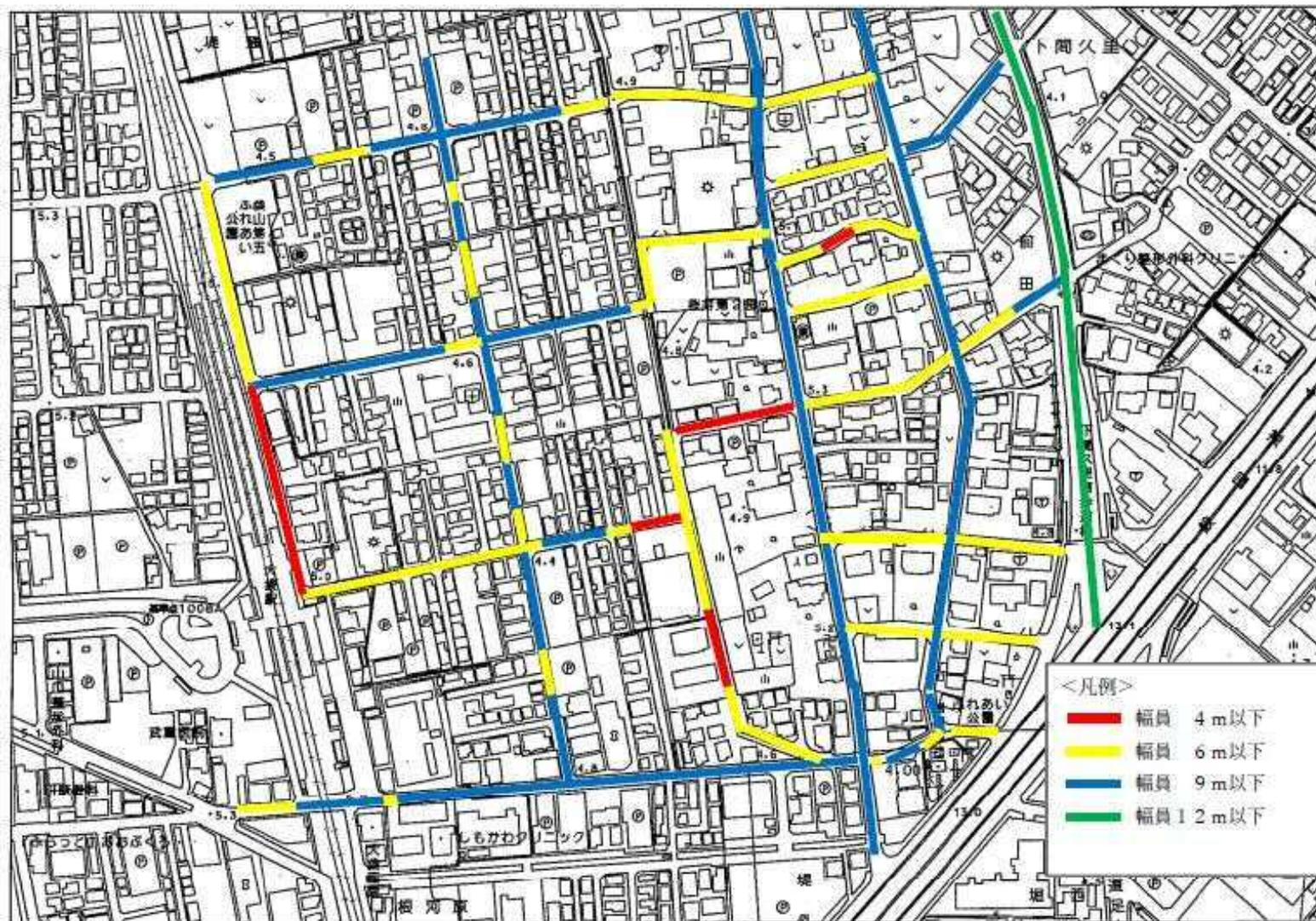
和暦（西暦）	組織	内容
		アクセス道路等の検討にあたっての事前検討
		アクセス道路等に係るコンセプト案の検討
		専門家による講演（「市民参加のまちづくり」「コミュニティデザイン」「地区計画制度について」）
		アクセス道路等のとりまとめ
		大袋駅東口周辺地区まちづくりニュースの発行（第4回）
令和4年(2022年)		地区計画等の概要説明、まちづくりの方向性の再確認に係る意見聴取
		まちづくりの方向性の案の提示、協議
		まちづくりの方向性の検討、まちづくり構想案の検討
		まちづくり構想案の検討
		ワーキングチームによるまちづくり構想原案の作成

和暦（西暦）	組織	内容
		まちづくり構想の策定
		まちづくり構想の越谷市長への提出

現況の課題整理図



現況の道路状況



人身事故の発生状況



桜井地区 まちづくり会議提言書

【目標② 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり】

目標	重点的な取組	方向性	地区まちづくり会議より出された提言		目標実現に向けた市民・行政の役割	
			番号	出された提言内容	市への期待	地域でできること
目標② 防災力を高め、地域の 連携と支え合い で、安全で安心な まちづくり	◆安全性を重視した道路、 交通環境の整備	道路整備の推進	43	●危険な狭い道路の解消	道路整備 警察への啓発等・ミラー 設置等	
			44	●道路整備(多広線～桜井小学校～国道4号バイパス)〔平方中学校・平方小学校・桜井小学校の通学路)〔大袋地区)〔道高太郎)	道路整備 警察への啓発等・ミラー 設置等	
			45	●歩道のある道路整備	歩道整備	
			46	●道路拡幅、歩道設置	道路拡幅	
			47	●道路標識と街路灯の整備・管理	道路標識と街路灯の適切な 設置と管理	樹木・灯りの点検
			48	●水たまりのできない道路整備	道路補修の充実	適切な清掃
			49	●時間帯、場所など大型車の通行規制	通行規制の実施	監視・交通整理
			50	●歩行者が優先される道路(コミュニティ道路)の整備	歩行者優先道路の整備	
			51	●せんげん谷駅前前線の渋滞解消(横断歩道の撤 止)	警察への働きかけ	
			52	●道路標識の維持管理	しっかりとした点検 警察との連携(標識位置 が変更された場合は、標 識の取替え等)	点検等の実施・通報
			53	●平方大橋の建設是否を含めた建設内容の見 直し	計画の見直し	見直しへの理解
			54	●平方大橋周辺道路環境整備	平方大橋整備に合わせた 計画的な道路整備	
			55	●地区内の公共交通網の整備		
			公共交通網の 整備	56	●地区と病院や駅などをつなぐ多様な公共交 通手段の検討	公共交通網の整備検討 和歌山県や近隣の交通 実況に合わせた路線・車 両の検討
57	●(入不律地区への対応(平方方面)(各駅～ 病院)(北高方面)					
58	●国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討	アクセス道路の検討		大袋駅前周辺の道路は まちづくり協議会による検討		
大袋駅周辺の まちづくり	59	●東武鉄道伊勢崎線の高架化による東西交通 の円滑化	東武鉄道との連携	まちづくり協議会による検討		
	60	●防災拠点の整備	防災拠点の整備			
◆地域をあげ た防災・防災 による安心・ 安全なまちづく り	防災対策の強化	61	●自然堤防上の防災拠点整備	自然堤防上の防災拠点の 整備		
		62	●防災倉庫を設置するなどの福祉等の利用	防災施設の整備		
		63	●防災倉庫の備品の充実と管理	備品の管理に関する知 識・取組 備品の充実(災害時に使 用可能な備品の活用(防 災ラックなど)	管理の協力	
		64	●排水設備の整備	排水設備の整備・修繕		

令和元年9月25日

桜井地区まちづくり会議
会長 小倉 繁 様

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会
会長 細沼 淳平

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについて (意見)

- はじめに
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、平成18年から大袋東まちづくり協議会において、様々な検討を進めてまいりましたが、具体的な結論までには至りませんでした。また、まちづくりを進めるにあたり、重要となる駅周辺の権利者や駅利用者が協議会に関っていないことが課題となっております。
そのため、このたび関係自治会等に権利者や利用者も含めた組織として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」を発足し、主に駅前広場やアクセス道路等の整備について、この地区にふさわしいまちづくりを検討することとなりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討について
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、前回の大袋地区まちづくり会議提言書でも意見があり、越谷市都市計画マスタープランの地区別構想には、主な施策として、桜井地区で「国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討」、大袋地区で「大袋駅東口(駅前交通広場を含む)の整備の検討」が挙げられております。
また、まちづくりの課題については、大袋東まちづくり協議会をはじめ、地権者を対象としたアンケート調査や懇談会、さらには、協議会発足に伴う準備会や本協議会においても、様々な方々と意見交換を行ってまいりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりに係る意見について
上記の検討を踏まえ、下記の事項について、提案いたします。

- ・駅前広場の整備等の検討に関すること
- ・アクセス道路の整備等の検討に関すること
- ・既存道路の改修に関すること
- ・防災まちづくりの強化に関すること
- ・商店街の充実・活性化に関すること

つきましては、越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「国道4号から大袋駅へのアクセス道路検討」を引き続き、継承するとともに、本協議会からの意見を桜井地区まちづくり会議の提言書へ反映していただきますよう、ご検討をお願いいたします。

大袋地区 まちづくり会議提言書

目標 2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり

重点的な取組 2-1 みんなでつくる安全・安心の仕組みづくり	
見守り活動による通学路の安全確保、明るく、安心な街づくりを進めます。災害時に備え、地域の諸団体との連携・協力による防災対策を進めます。	
方向性	具体的な内容
① みんなで確保する子どもの安全	«地域でできること» ● 市からのエリアメールの活用促進 ● 見守り隊の活動・制度の充実・人材の確保 «市への期待» ○ 大袋小学校周辺の交通安全対策
② みんなで灯す明るいまちづくり	«地域でできること» ● 登下校時の集団化を充実 ● 埼玉県立大学との連携による子どもの安全確保 «市への期待» ○ 道路照明灯の増設 ○ 空き家対策による犯罪抑制 ○ 防犯カメラの設置促進
③ 災害時の安全対策	«地域でできること» ● 地域の危険個所の地図づくり ● 災害時の子どもの安全確保 ● 地域と民間ショッピングセンター・大学等との連携による災害時の対応 «市への期待» ○ 小学校や中学校等への防災倉庫の設置 ○ 防災備蓄品の適正管理
重点的な取組 2-2 地域の賑わいにつながる、人や車の円滑な流れを実現	
大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会による大袋駅東口周辺の整備検討と西大袋土地区画整理事業早期完成促進を働きかけます。	
方向性	具体的な内容
① 大袋駅周辺のまちづくり	«地域でできること» ● <u>大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討</u> ● <u>既存道路の改修に関する検討</u> «市への期待» ○ 東武鉄道伊勢崎線の高架化による東西の連結
② 道路・交通ネットワークの充実	«地域でできること» ● 西大袋土地区画整理事業早期完成の要請 «市への期待» ○ 西大袋土地区画整理事業早期完成 ○ 幹線道路の整備促進（袋山恩間線） ○ バス網の充実

令和元年9月7日

大袋地区まちづくり会議
会長 川島 秀男 様

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会
会長 細沼 淳平

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについて（意見）

- はじめに
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、平成18年から大袋東まちづくり協議会において、様々な検討を進めてまいりましたが、具体的な結論までには至りませんでした。また、まちづくりを進めるにあたり、重要となる駅周辺の権利者や駅利用者が協議会に関っていないことが課題となっております。そのため、このたび関係自治会等に権利者や利用者も含めた組織として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」を発足し、主に駅前広場やアクセス道路等の整備について、この地区にふさわしいまちづくりを検討することとなりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討について
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、前回の大袋地区まちづくり会議提言書でも意見があり、越谷市都市計画マスタープランの地区別構想には、主な施策として、桜井地区で「国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討」、大袋地区で「大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討」が挙げられております。また、まちづくりの課題については、大袋東まちづくり協議会をはじめ、地権者を対象としたアンケート調査や懇談会、さらには、協議会発足に伴う準備会や本協議会においても、様々な方々と意見交換を行ってまいりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりに係る意見について
上記の検討を踏まえ、下記の事項について、提案いたします。

- ・駅前広場の整備等の検討に関すること
- ・アクセス道路の整備等の検討に関すること
- ・既存道路の改修に関すること
- ・防災まちづくりの強化に関すること
- ・商店街の充実・活性化に関すること

つきましては、越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「駅前広場とアクセス道路の整備の検討」を引き続き、継承するとともに、本協議会からの意見を大袋地区まちづくり会議の提言書へ反映していただきますよう、ご検討をお願いいたします。

第5次越谷市総合振興計画への反映状況

桜井地区

《将来像》
憩える自然につつまれた、住みよいふれあいのまち桜井

1.地区の現況と課題

【現況】
桜井地区は、子どもから高齢者まで世代を超えたコミュニティが形成され、地域における防犯・防災活動などのまちづくり活動にも積極的な地区です。ふれあいサロンの展開や地域における高齢者の生活支援など、世代を超えた支え合いの仕組みも構築されています。
地区内には、古利根川・新方川をはじめとした河川・水路など、身近な水辺が多く存在するとともに、住宅地に点在する屋敷林や平方自然観察林など豊かな緑にも恵まれ、これらは地域の特徴的な資源となっています。
こうした貴重な資源をはじめ、日光街道宿場町としての歴史や下間久里の獅子舞などの伝統文化を後世に受け継いでいくための取組みが求められています。

【課題】
地域を流れる河川・水路は、近年、水質低下が進み、台風や集中豪雨の際には水害の不安があります。また、地域の生活を支えてきた農業にも衰退が見られ、遊休農地や休耕田の活用など、地区の資源の活用や魅力のPRも課題となっています。
道路については、特に学校周辺の狭隘道路などの問題があり、整備が進む平方公園については、防災機能の充実のほか、少子高齢化に対応した多様な利用や早期完成が求められます。
今後も少子高齢化のさらなる進展が予想されるなか、新たな公共交通網整備の検討や地域と行政が連携した日常生活支援体制整備など、子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず生きがいをもって快適に暮らせる環境づくりが課題となっています。

2.まちづくりの目標

目標1 暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共生するまちづくり
目標2 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり
目標3 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり
目標4 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり

大袋地区

《将来像》
梅かおる自然と共生する 学びとやすらぎのまち 大袋

1.地区の現況と課題

【現況】
大袋地区には鴨場や梅林公園、野鳥が生息する元荒川や新方川など、魅力的で特色のある景観があり、農地や屋敷林をはじめ多くの緑地も残されています。これらの地域資源を守るため、地域のつながりを活用して草花を植えるなど、豊かな緑の創出に取り組んでいます。
また、大袋駅周辺のまちづくりや西大袋土地区画整理事業が進められており、さらなる地域の発展が期待できます。さらに、コミュニティ活動については、梅まつりや地域活動を中心に盛んに行われ、埼玉県立大学との連携も進められています。

【課題】
自然・水辺環境に恵まれているものの、緑や水と共生していくためには、農地の保全や元荒川、新方川の氾濫を防ぐための対策、災害に備えた地域の仕組みづくりが求められています。
また、空き家の増加や、大袋駅周辺における東武鉄道伊勢崎線により分断された東西の連結、大袋駅車庫周辺の整備なども課題となっています。
コミュニティ活動が活発である一方、高齢化による担い手の減少や関心の希薄化が進んでおり、地域の住民が交流する機会や場所の充実が求められています。さらに、小中学校も多くあることから、埼玉県立大学の学生との連携や多世代交流の促進により、子どもたちを地域で育てていけるような環境が求められています。

2.まちづくりの目標

目標1 四季折々の豊かなみどりやすらぐ水辺があるまちづくり
目標2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり
目標3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

■施策の方向性

311 メリハリのある土地利用を進める

□都心からの鉄道・道路によるアクセスに優れている地域特性から、これまで図られてきた土地利用を活かしつつ、人口減少や少子高齢化による土地需要の変化や、ライフスタイルの変化に対応したメリハリのある土地利用のあり方を検討します。

第4章 地区づくりの方針

■地区の将来像



13のコミュニティ区域ごとに展開されている「地区からのまちづくり」を踏まえ、13地区ごとに「地区づくりの方針」を示しています。

地区が描いた「地区の将来像」のもと、各地区の特性を活かした「方針」や、今後の具体的な取組となる「主な施策」、これらをイメージ化した「地区づくり方針図」を示しています。



《地区づくり方針図の凡例》 ※13地区共通



越谷市都市計画 マスタープランへの反映状況

1 桜井地区

- 方針1 暮らしやすい居住環境づくり
- 方針2 豊かな水辺と農地の保全・活用
- 方針3 防災力の高い地区づくり



中央公園



4 大袋地区

- 方針1 利便性の高い市街地づくり
- 方針2 円滑な交通環境づくり
- 方針3 水と緑を活かした環境づくり
- 方針4 安全・安心な地区づくり



大袋駅前



大袋駅東口駅前広場の類型（立地特性・空間特性）について

立地特性からみた目指す広場

（各類型の傾向と方向性）

B: 地域の人が集まりやすく、滞留空間と移動空間が混在しやすい。（生活拠点・複数交差） 21名

⇒ 魅力を高めることによって街の新たな中心的な場所となりうる広場。地域の子供や大人が集まって談笑できる広場。

A:（傾向）様々な人が集まりやすく、移動空間と滞留空間が混在しやすい。（中心拠点・複数交差） 7名

（方向性）⇒ より多くの歩行者を受け入れ、豊かな歩行体験ができる広場。多くの人がゆっくりと滞在したくなる広場。



空間特性からみた目指す広場

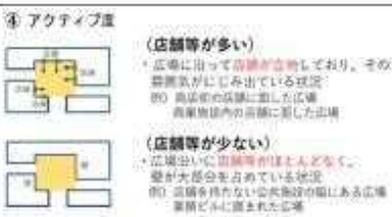
（各類型の傾向と方向性）

イ: 広場周辺の視認性が高く、周辺店舗へ利用客が集まりやすい。（さらされ・店舗等が多い） 20名

⇒ 視界の広がりを生かした開放感のある空間整備を、周辺店舗と一体的な空間となるように行う。

ウ: 領域性が高く、ゆっくり静かな空間になりやすい。（かこまれ・店舗等が少ない） 6名

⇒ 領域性の高さを生かして、長時間行うアクティビティが生まれやすい空間整備を行う。



大袋駅東口駅前広場の方向性について

先に議事にて取り上げた

「大袋駅東口駅前広場の方向性（コンセプト）案」を参照してください

（その他参考）

大袋地区、桜井地区において、下記のとおり令和元年度に「地区まちづくり会議提言書」をとりまとめております。この提言書に対しては、当協議会から駅前広場やアクセス道路の整備検討について盛り込んでいただくよう意見書を提出しています。

（参考）地区まちづくり会議提言書

【大袋地区】

将来像 梅かおる自然と共生する 学びとやすらぎのまち 大袋

まちづくりの目標

- 目標1 四季折々の豊かな緑とやすらぐ水辺があるまちづくり
- 目標2 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり
- 目標3 大袋の未来を拓くコミュニティづくり

【桜井地区】

将来像 憩える自然につつまれた、住みよいふれあいのまち桜井

まちづくりの目標

- 目標1 暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共生するまちづくり
- 目標2 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり
- 目標3 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり
- 目標4 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり

●大袋駅東口駅前広場の方向性に係るご意見の結果と広場の方向性

◆ご意見の結果

協議会員 38 名のうち、出席者のご意見 23 名、欠席者の後日ご意見 12 名
合計 35/38 名からご意見をいただきました。

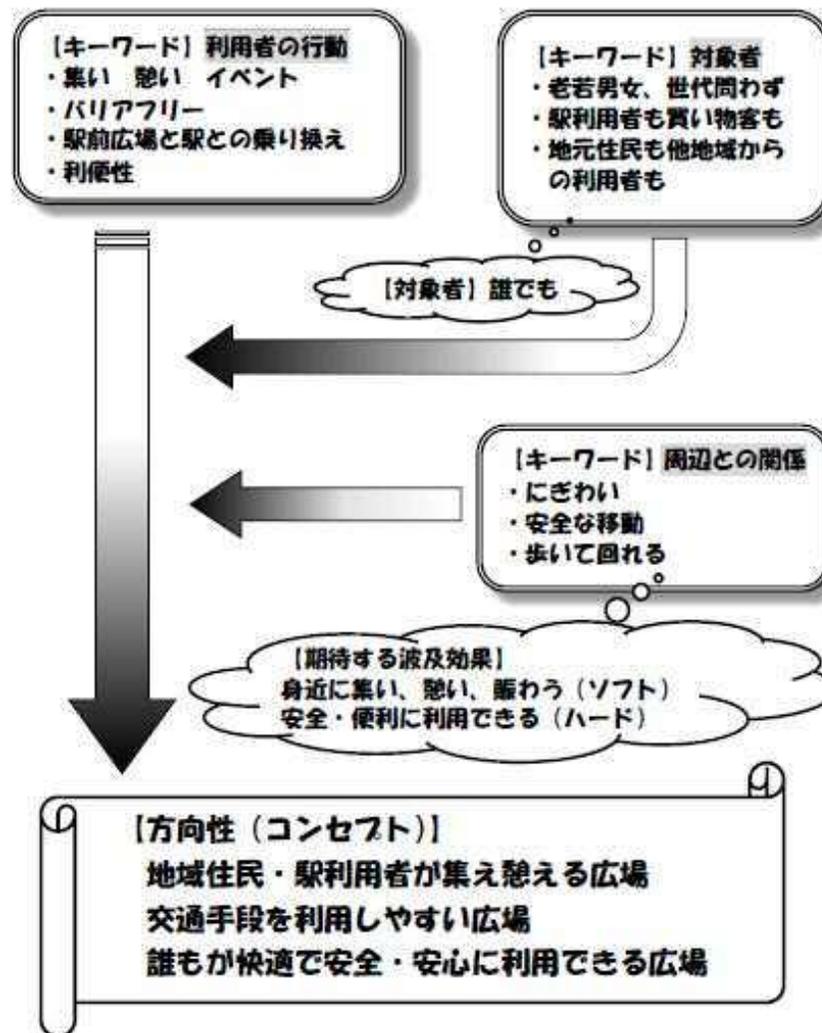
(利用者の行動に関して：どんな利用ができる広場にしたいか) おひとりあたり3つ選択

No.	ご意見	件数				
		A班	B班	C班	欠席者	合計
1	地元の住民や子供が集える広場		1	1	1	3
2	飲食や読書、会話などコミュニケーションができる広場		2			2
3	ゆったり、くつろげる憩いの広場	1	2	1	2	6
4	イベント（芸術りなど）ができる多目的広場	5	2	3	4	14
5	緑地帯やベンチを置き、駅を利用する人の休憩、待ち合わせができる広場	4	1	4	8	17
6	歩道の幅が広く段差が少ない、乗降場から駅まで階段がある、障害者の送迎がスムーズであるなど、バリアフリーな広場	3	4	7	8	22
7	循環バス、タクシー、一般車等が利用できる広場	4	6	7	8	25
8	商業店舗まで連続性のある広場		3		4	7
9	防災にもなる雨水公園機能をもつ広場	2	3	1	1	7
10	自治会施設が一体（隣接）した広場					
11	歴史ある文化財等を再現できる広場（大袋時計、下関久米獅子舞など）	2				2

(周辺との関係に関して：どんな波及効果を生みたいか) おひとりあたり2つ選択

No.	ご意見	票数				
		A班	B班	C班	欠席者	合計
1	駅近商業店舗の活性化（賑わい、出店増加）	6	7	4	7	24
2	コミュニティの発達			1	5	6
3	東口、西口の交流	1		3	1	5
4	地域住民の安全な移動ができる	6	3	3	5	17
5	行き帰りに立ち寄れる、駅前線やその先の店舗への人の誘導、回遊	1	6	5	6	18
6	広場への集客効果					

大袋駅東口駅前広場の方向性（コンセプト）



駅前広場に係る検討 投票結果

【案】	【地 図】	【選定結果】
<p>①-1 駅前の正面と南側を拡張する。 面積：約 4,300 ㎡</p>		21票
<p>①-2 ①-1案に加え、駅北側道路の北側も拡張する。 面積：約 8,200 ㎡</p>		21票
<p>①-3 ①-1案に加え、さらに東側の道路まで拡張する。 面積：約 10,600 ㎡</p>		2票
<p>①-4 ①-1案に加え、マンションの東側を転回広場とし、駅正面と接続する。 面積：約 8,800 ㎡</p>		6票

※投票数：出席者 24名
欠席者 4名
計 28名

【案】	【地 図】	【選定結果】
<p>①-5 ①-1案をさらに東側へ、マンションの東側まで拡げる。 面積：約 18,400 ㎡</p>		4票
<p>①-6 ①-1案をさらに東へ、かつ駅北側道路よりさらに北側へ広場を拡張する。 面積：約 20,400 ㎡</p>		0票
<p>②-1 駅北側道路より北側のみ広場として整備する。 面積：約 8,200 ㎡</p>		2票
<p>②-2 駅北側の線路沿い道路を拡幅し、ふれあい公園を広場として整備する。 面積：約 10,600 ㎡</p>		0票

道路に関する取り纏め（最終版（案））



大袋駅東口周辺の現状（道路関係）

左図①（踏切の通り）は東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）を跨いだ東西交通の道路並びに大袋駅東口へのアクセス道路となっておりますが、道路に設置された電柱により有効幅員が狭いことから歩行者や自転車の安全確保が不十分であり、主要道路の国道4号まで円滑にアクセスすることが出来ないため、利便性が悪く、路線バスが運行されておられません。また、大袋駅東口周辺の道路も、道路のセットバックが進んでいないことから、有効幅員が狭く、歩行者や自転車の安全確保が不十分となっております。

そこで、歩行者等の安全確保や利便性の向上、更には防災強化（災害時の復旧・救助活動）、駅利用者の増加や商店街の活性化を図るために、大袋駅東口へのアクセス道路並びに既存道路の整備が早急が必要となります。また、大袋駅東口のアクセス道路の整備完了後には、利便性向上のための路線バスの運行を望みます。

優先順位1 < 駅前広場へのアクセス道路 >

大袋駅から国道4号に接続する道路の新設・拡張
 （国道4号までの接続が困難な場合は、旧日光街道まで）

< 道路構造に関する要望 >

- ・車道、歩道（十分な歩行スペースを確保）、自転車専用レーンの分離
- ・片側一車線の相互通行（歩行スペースを十分に確保、自転車専用レーンは必要）
- ・道路の交差点部を出来るだけ少なくした道路設計。
- ・路線バスのバス停を意図した道路設計
- ・右折レーンを長めが良い。
- ・歩道は安全・長持ちなアスファルト舗装（レンガは割れたり、不当沈下が生じる）

優先順位2 < 既存道路 >

1. 左図①（踏切の通り）・・・道路拡張、電線地中化又は電柱の民地建柱による安全確保
 国道4号バイパスまでの整備
 2. 左図②-1（須賀用水上）・・・道路整備（道路幅員の拡張はなし）
 左図②-2（北中通り）・・・道路拡張、道路整備
 3. 左図③-1
 左図③-2
 左図③-3
 左図③-4
- } 道路拡張、道路整備

< 想定される課題 >

- ・南北のアクセス（北中通り）
- ・交差点の複雑化
- ・交通量の増加に伴う交通事故、振動、騒音

< その他 >

- ・路線バスの運行
- ・商業施設の誘致
- ・公共駐車場の整備（買い物をした場合は無料）
- ・大袋駅前通りを商店街のある賑わいのある駅前通りに活性化

大袋駅東口周辺地区

まちづくりニュース

創刊号
令和2年3月

発行 / 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会が発足しました

これまで

大袋駅東口周辺では、平成18年から地元有志の方々により「大袋東まちづくり協議会」を発足し、まちづくりの課題や方針について検討を進めておりました。

直近の動き

平成29年から、大袋駅東口周辺の土地所有者の方々も含めた協議会への再編を検討し、検討区域にてアンケート調査及び懇談会を開催しました。平成30年度には協議会の準備会を行い、協議会発足の準備を進めてまいりました。

令和元年度

令和元年6月22日に「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」が発足しました。第1回協議会において

は、会員41名のうち33名が出席し、協議会の規則の決定や、役員を選出しました。

本協議会では、これまで大袋駅東口周辺の大きな課題とされていた駅前広場や国道4号へのアクセス道路、既存道路の改修などのまちづくりについて協議することとしております。



協議会の発足にあたって

大袋駅東口周辺のまちづくりについては、平成18年から地元の有志によりまちづくりの検討を続けてきましたが、このたび、地元周辺の自治会や商店会の方々、東口周辺の地権者の皆様、駅や商店会の利用者の方々にご協力をいただき、大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会として、今後のまちづくりについて検討することとなりました。

私たちの子供や孫の世代が、大袋に住んでいて良かったと思えるように、本協議会で、今後のまちづくりの礎となるような検討を進められればと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 会長 細沼 淳平

令和元年度の協議会活動について(報告)

第1回協議会(令和元年6月22日)

協議会発足

平成30年度に発足した協議会準備会を踏まえ、協議会員となる方々にご出席いただき、本協議会が発足しました。

協議会の規則の決定や協議会役員(会長、副会長2名、書記2名)の選出などを行いました。



第1回協議会の様子(北部市民会館)

第2回協議会(令和元年9月1日)

「大袋地区、桜井地区まちづくり会議」への意見書作成

現在越谷市で進めている「第5次越谷市総合振興計画」の策定及び「越谷市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、市内13地区において「地区まちづくり会議」を開催しました。

そこで、大袋地区、桜井地区の地区まちづくり会議に対し、現在の越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「駅前広場とアクセス道路の整備の検討」を引き続き継承するようお願いするため、本地区の課題について意見交換を行い、地区まちづくり会議への意見書をとりました。(令和元年9月に提出)



第2回協議会の様子(大袋北交流館)

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会
(意見の重要度)

提案項目	駅前広場の整備について	アクセス道路の整備について	既存道路の改修について	駅前通り沿道のまちづくりについて	駅前広場の整備について	その他(希望)
提案数	28	21	13	8	1	12

意見の重要度について



地区の課題・意見とりまとめシート

先進事例地視察（令和2年2月13日）

東武伊勢崎線沿線にある「草加市谷塚駅西口地区」を視察しました。

この地区は、大袋駅東口周辺と同様に駅前広場が整備されておらず、地元が主体となってまちづくりの課題や将来像について協議し、「まちづくり構想」を作成し、草加市長へ提出した地区です。

協議会の運営の進め方や、構想のとりまとめ方の事例並びに現地の課題について視察いたしました。



谷塚駅西口周辺の都市計画図



視察の様子（谷塚駅西口周辺の現地視察）



視察の様子（草加市役所での事前説明）

第3回協議会（令和2年3月 書面開催）

視察報告等

第3回協議会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員の皆様へ会議資料をお送りし、ご意見をいただきました。具体的には、第2回協議会でとりまとめた地区まちづくり会議への意見書提出や、先進事例地視察の報告を行いました。

（裏面：大袋地区、桜井地区まちづくり会議への意見書）

本協議会では、今後も大袋駅東口周辺地区の駅前広場や国道4号へのアクセス道路などについて協議を進めます。協議内容等については、まちづくりニュースにて随時お知らせいたします。

お問い合わせ

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 事務局
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷 4-2-1 越谷市役所 都市整備部 都市計画課
電話 048-963-9221（課直通） FAX 048-965-0948
Eメール toshikei@city.koshigaya.lg.jp
越谷市公式ホームページ トップページ > 暮らし・市政 > 暮らし・手続き > 住まい・街づくり > 街づくり > 大袋駅東口周辺地区のまちづくり

大袋地区、桜井地区まちづくり会議へ提出した意見書（令和元年9月）

当協議会から「大袋地区まちづくり会議」及び「桜井地区まちづくり会議」に意見書を提出しました。この意見書を踏まえ、両地区まちづくり会議の提言書へ盛り込んでいただきました。

令和元年9月7日
大袋地区まちづくり会議
会長 川島 秀男 様

桜井地区まちづくり会議 令和元年9月25日
会長 小倉 繁 様

「桜井地区まちづくり会議」には
令和元年9月25日に提出しました。

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会
会長 細沼 淳平

大袋駅東口周辺地区のまちづくりについて（意見）

- はじめに
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、平成18年から大袋東まちづくり協議会において、様々な検討を進めてまいりましたが、具体的な結論までには至りませんでした。また、まちづくりを進めるにあたり、重要となる駅周辺の権利者や駅利用者が協議会に関っていないことが課題となっておりました。
そのため、このたび関係自治会等に権利者や利用者も含めた組織として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」を発足し、主に駅前広場やアクセス道路等の整備について、この地区にふさわしいまちづくりを検討することとなりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりの検討について
大袋駅東口周辺地区のまちづくりについては、前回の大袋地区まちづくり会議提言書でも意見があり、越谷市都市計画マスタープランの地区別構想には、主な施策として、桜井地区で「国道4号から大袋駅へのアクセス道路の検討」、大袋地区で「大袋駅東口（駅前交通広場を含む）の整備の検討」が挙げられております。
また、まちづくりの課題については、大袋東まちづくり協議会をはじめ、地権者を対象としたアンケート調査や懇談会、さらには、協議会発足に伴う準備会や本協議会においても、様々な方々と意見交換を行ってまいりました。
- 大袋駅東口周辺地区におけるまちづくりに係る意見について
上記の検討を踏まえ、下記の事項について、提案いたします。

- ・駅前広場の整備等の検討に関する事
- ・アクセス道路の整備等の検討に関する事
- ・既存道路の改修に関する事
- ・防災まちづくりの強化に関する事
- ・商店街の充実・活性化に関する事

つきましては、越谷市都市計画マスタープランの施策に挙げられている「駅前広場とアクセス道路の整備の検討」を引き続き、継承するとともに、本協議会からの意見を大袋地区まちづくり会議の提言書へ反映していただきますよう、ご検討をお願いいたします。

「桜井地区まちづくり会議」に提出した意見書では、この部分を「国道4号から大袋駅へのアクセス道路検討」としてしています。

大袋駅東口周辺地区 まちづくりニュース 第2号

令和2年10月
発行 / 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会

協議会で大袋駅東口駅前広場の構想を検討しています

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会では、本地区のまちづくりの構想を令和2年度から2年間で作成することとし、以下のスケジュールで協議を進める予定です。

令和2年度

駅前広場の先進事例地を視察し、駅前広場の構想を検討します。

また、次年度に検討するアクセス道路についての勉強会（講演会）を行います。

令和3年度

国道4号から駅前広場へのアクセス道路の整備や、既存道路の改修などのまちづくりについて検討し、本地区のまちづくり構想をとりまとめます。

令和4年度

協議会でとりまとめたまちづくり構想を市長へ提出する予定です。



大袋駅東口の様子

【協議会における検討スケジュール】

令和2年度	令和3年度	令和4年度
<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場の先進事例地視察 駅前広場の構想の検討 アクセス道路についての勉強会（講演会） 	<ul style="list-style-type: none"> 国道4号から駅前広場へのアクセス道路 その他の事項 <ul style="list-style-type: none"> 既存道路の改修 防災まちづくりの強化 商店街の充実・活性化 まちづくり構想のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 市長へまちづくり構想を提出

令和2年度の協議会活動について(報告)

第4回協議会（令和2年6月27日）

令和2年度の協議事項と今後の予定

これまでの協議会で皆様からいただいた地区の課題をとりまとめました。

また、令和2年度から2年間をかけて、下記の流れで本協議会のまちづくり構想を作成することとしました。

1. 令和2年度は駅前広場の構想を検討する
2. 令和3年度はアクセス道路などの構想を検討する
3. 作成したまちづくり構想を、令和4年度に市長へ提出する



第4回協議会の様子（大袋北交流館）



地区の課題とりまとめ

駅前広場の整備の検討（広場の特性について）

駅前広場の整備の検討として、大袋駅東口の駅前広場にふさわしい立地や空間について、会員の皆様からご意見をいただきました。

合わせて、駅前広場について、どんな利用ができる広場にしたいか等のアンケートを実施しました。

また、駅前広場の先進事例地の視察を行うこととし、8名の方にご参加いただくこととなりました。



広場の特性に対するご意見のまとめ

先進事例地視察（令和2年7月31日）

駅前広場の先進事例地の視察

近年、駅前広場を整備した先進事例地として、東武伊勢崎線沿線にある「一ノ割駅前広場（春日部市）」と「五反野駅前交通広場（東京都足立区）」を視察しました。

「一ノ割駅前広場」は、自動車等の乗り降りができるロータリーのみが暫定整備された事例です。駅周辺の状況が大袋駅東口と似ており、参考となると思われることから視察しました。

また、国道4号から駅前までの既存のアクセス道路について、電柱が民地に移設され広がった道路を歩いて確認しました。



駅前広場視察の様子（一ノ割駅）



既存のアクセス道路を視察の様子（一ノ割駅）

「五反野駅前交通広場」は、駅の乗降人員は大袋駅の2倍近いものの、整備された広場の形状や大きさが比較的小さく、大袋駅東口でも想定される広場に近いものと思われることや、地元のまちづくり協議会においても、広場の整備について協議を行っていたことから視察しました。この広場については、足立区役所密集地域整備課の職員の方々にご協力いただき、駅前広場の整備内容や経緯等について、ご説明をいただきました。



駅前広場視察の様子（五反野駅）



第5回協議会（令和2年8月29日）

先進事例地の視察報告

令和2年7月に実施した駅前広場の先進事例地視察について、視察参加者からご報告をいただきました。視察地の状況報告と合わせ、今後、駅前広場の検討を進めるにあたっては、地権者の方々の協力が必要であるとのこと意見をいただきました。

駅前広場の整備の検討（広場の方向性について）

前回の協議会で実施したアンケートにより、協議会の皆様から「どんな利用ができる広場にしたいか」や、「広場によりどんな波及効果を生みたいか」についてご意見をいただきました。

これらのご意見をもとに、班に分かれて広場の方向性について意見交換し、最後に各班から発表することで、協議会で意見を共有しました。



第5回協議会の様子（視察報告）



第5回協議会の様子（意見交換）



広場の方向性についてのご意見とりまとめ

本協議会では、今後も大袋駅東口周辺地区の駅前広場や国道4号へのアクセス道路などについて協議を進めてまいります。協議内容等については、まちづくりニュースにて随時お知らせいたします。

また、協議会員となる地権者の会員を募集しております。ご意見や詳しい協議会の資料等については、下記事務局までご連絡ください。

お問い合わせ
 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 事務局
 〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷4-2-1 越谷市役所 都市整備部 都市計画課
 電話 048-963-9221（課直通） FAX 048-965-0948（西村、木下、北嶋）
 Eメール toshikei@city.koshigaya.lg.jp
 越谷市公式ホームページ トップページ > 暮らし・市政 > 暮らし・手続き > 住まい・街づくり > 街づくり > 大袋駅東口周辺地区のまちづくり



【下記ホームページのQRコード】

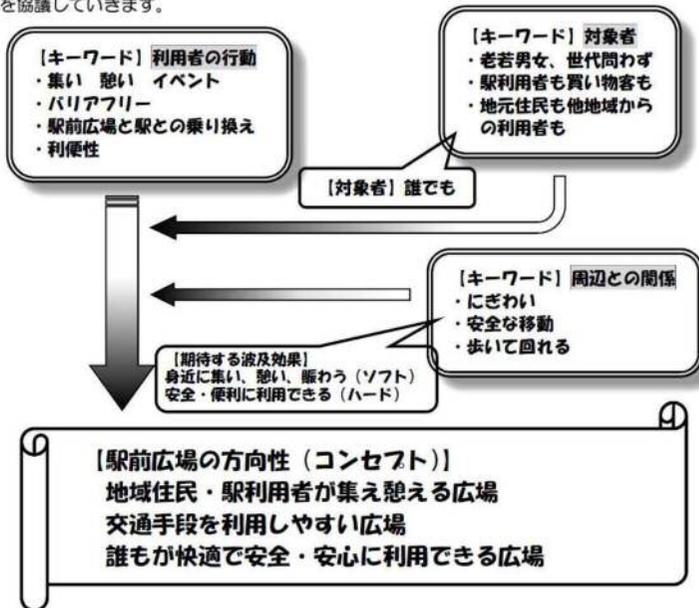
大袋駅東口駅前広場の方向性(コンセプト)が決定しました

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会では、大袋駅東口にふさわしいまちづくり構想案の作成に向けて、どのような使い方ができる駅前広場にしたいかなどを検討し、このたび、駅前広場の方向性(コンセプト)が決定しました。

第6回協議会(令和2年11月1日)

大袋駅東口駅前広場の方向性(コンセプト)とりまとめ

協議会の皆様からのご意見をもとにキーワードを抽出し、本協議会での駅前広場の方向性(コンセプト)をとりまとめました。本協議会では、これらの方向性を拠り所として、駅前広場の構想を協議していきます。



第6回協議会(令和2年11月1日) つづき

駅前広場の位置・範囲の検討(ワークショップ)

これまでの協議会で整理した駅前広場の特性や方向性などを踏まえつつ、協議会の皆様が班に分かれ、各自で考えた駅前広場の位置や範囲について意見交換を行いました。これを班ごとにとりまとめ、最後に各班から発表することで、協議会で意見を共有しました。



第6回協議会の様子(大袋地区センター・公民館)



各班での意見発表の様子



全体の様子



取りまとめた駅前広場の案と考え方(A班)



取りまとめた駅前広場の案と考え方(B班)



取りまとめた駅前広場の案と考え方(C班)

大袋駅東口周辺地区 まちづくりニュース 第4号

令和3年12月
発行 / 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会

大袋駅東口周辺の道路の構想案を取りまとめました。

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会では、大袋駅東口にふさわしいまちづくり構想案の策定に向け、第8回から第11回は道路の構想案を検討し、大袋駅東口周辺の道路の構想案を取りまとめました。

第8回協議会（令和3年6月12日）（大袋北交流館にて）

第5次越谷市総合振興計画、越谷市都市計画マスタープラン

桜井・大袋両地区の地区まちづくり会議へ提出しました「まちづくり意見書」について、地区まちづくり会議にて地区の10年20年後を見据えたまちづくりの検討が行われ、地区の提言書として、越谷市に提出されました。その後、令和元年度から2年度に、審議会等で策定が進められた結果、越谷市の上位計画である第5次総合振興計画及びまちづくりの基本的な考え方を示す都市計画マスタープランに、大袋駅東口の整備に関する事項が引き続き示されました。

< 越谷市都市計画マスタープランより > < 越谷市都市計画マスタープランより >



次回より進めていくアクセス道路の検討に向け、大袋駅東口周辺の現状及び類似地区の紹介
大袋駅東口周辺の「現在と将来の道路幅員」、「人身事故発生件数と箇所」を説明し、類似地区の蒲生駅東口及び愛宕駅（千葉県野田市）を紹介しました。

第9回協議会（令和3年7月11日）（大袋地区センターにて）

駅前広場へのアクセス道路の検討（ワークショップ）

協議会の皆様が班に分かれ、各自で考えたアクセス道路について期待する効果や課題、既存道路の整備に係る意見交換を行いました。これを班ごとにとりまとめ、最後に各班から発表することで、協議会で意見を共有しました。



各班での検討の様子



各班の意見発表の様子



全体の様子



取りまとめたアクセス道路の案（1班）



取りまとめたアクセス道路の案（2班）



取りまとめたアクセス道路の案（3班）

書面による意見聴取（令和3年9月）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、協議会を開催することができないため、第9回協議会に実施した「駅前広場へのアクセス道路の検討（ワークショップ）」での意見を集約した結果の報告、駅前広場へのアクセス道路に対する要望や意見や整備の必要がある道路の優先順位について、書面に意見を聴取しました。

【第9回協議会のワークショップでの意見を集約した結果】

※アクセス道路については、位置・幅員の確定は行いません。

- <駅前広場へのアクセス道路>**
大袋駅から国道4号線間を接続する道路の新設・拡幅（4号に接続が困難であれば、旧日光街道まで）
【期待する効果】
・災害時の復旧、救助活動への利用
・利便性の向上
・路線バスの導入
・駅利用者増加による商店街の活性化
- <その他の道路>**
既存道路の拡幅、道路の新設（須費用水の上を整備、国道4号バイパスに接続が困難であれば旧日光街道まで）
【期待する効果】
・歩行者の安全確保
・円滑な東西交通
- <想定される課題>**
・南北のアクセス（北中通り）
・交差点の複雑化
・交通量の増加に伴う交通事故、振動、騒音

第10回協議会（令和3年10月23日）（北部市民会館にて）

市民参加のまちづくり、コミュニティデザイン、地区計画制度について（専門家による講演会）

福島大学の長野野一特任教授をお招きし、「市民参加のまちづくり」「コミュニティデザイン」「地区計画制度について」をテーマとして、皆様がどのようにまちづくりに参加し、どのようなまちづくりを行えるのかを実例を踏まえてご講演いただきました。講演内容は越谷市のHP

（URLまたはQRコード）に掲載しておりますので、ご視聴することができます。
【URL（下記のホームページの下部にYoutubeのリンクがあります。）】 【QRコード】

https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/kurashi/sumai/machidukuri/obukuroeast



福島大学 長野野一特任教授



講演会の様子（参加者66名）

第11回協議会（令和3年11月13日）（大袋地区センターにて）

第9回協議会と書面による意見聴取の結果をご報告し、道路の構想案に係る審議を行い、道路に関する取りまとめを行いました。

道路に関する取りまとめ（最終版）

大袋駅東口周辺の現状（道路関係）
志保1（旧切の通り）は単式伊勢崎線（東武スカイツリーライン）を跨いだ東西交通の道路並びに大袋駅東口へのアクセス道路となっております。道路に設置された電柱により有効幅員が狭いことから歩行者や自転車の安全確保が十分でなく、主要道路の国道4号まで内通にアクセスできず歩行者の利便性が悪く、道路の混雑も発生しております。また、大袋駅東口周辺の道路も、道路の幅員が狭いことから、有線電線が立ち、歩行者や自転車の安全確保が十分でなくあります。
そこで、歩行者等の安全確保や利便性の向上、更には防災性（災害時の復旧・救助活動）、駅利用者の増加や商店街の活性化を図るために、大袋駅東口へのアクセス道路並びに既存道路の整備が早急に必要なものとします。また、道路の整備においては、バス等の大型車両の交通も配慮した整備を図ります。

優先順位1 <駅前広場へのアクセス道路>
大袋駅から国道4号に接続する道路の新設・拡幅（国道4号までの接続が困難な場合は、旧日光街道まで）
※位置と幅員については、決定しません。
・道路構造に関する事項
・歩道・歩道（十分な歩行スペース確保）、自転車専用レーンの設置
・歩道・歩道の相互通行（歩行スペースを十分に確保、自転車専用レーンが設置）
・道路の交差点を出来るだけ歩行者優先とした道路設計。
・路線バスのバス停を考慮した道路設計
・歩道幅員を広く、歩道は安全・気持ちなアスファルト舗装（レンガは歩道はあり、不平等下が生じる）

優先順位2 <既存道路>
1. 志保1（旧切の通り）・道路拡幅、電線中化又は電柱の北地舗装による安全確保
2. 志保2-1（須費用水）・道路拡幅（道路幅員の確保はなし）
3. 志保2-2（北中通り）・歩道拡幅、道路整備
4. 志保3-1
5. 志保3-2
6. 志保3-3
7. 志保3-4
道路拡幅、道路整備

<想定される課題>
・南北のアクセス（北中通り）
・交差点の複雑化
・交通量の増加に伴う交通事故、振動、騒音

<その他>
・路線バス等の公共交通の運行
・商業施設の誘致
・公共駐車場の整備（買い物をした場合は無料）
・大袋駅前通りを商店街のある賑わいのある駅前通りに活性化

本協議会では、今後もまちづくりに関して協議を進めてまいります。勉強会や協議会の内容等については、まちづくりニュースにて随時お知らせいたします。今までの「まちづくりニュース」のバックナンバーについては、越谷市のHP（下記のURLまたはQRコード）に掲載しております。また、協議会員を募集しております。興味のある方は下記事務局までご連絡ください。

【URL（越谷市のHP 大袋駅東口周辺地区まちづくりのページ）】

https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/kurashi/sumai/machidukuri/obukuroeast

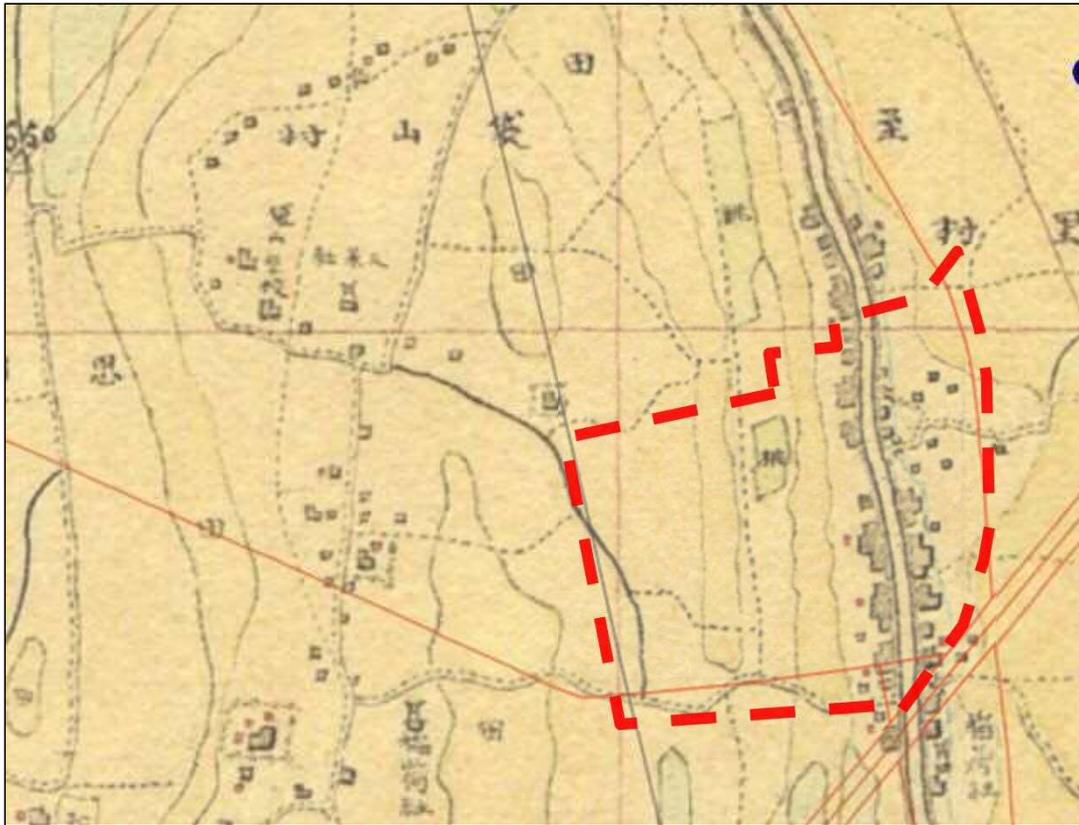
お問い合わせ

大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会 事務局
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷 4-2-1 越谷市役所 都市整備部 市街地整備課
電話 048-963-9231（課直通） FAX 048-965-0948
Eメール shigaichi@city.koshigaya.lg.jp
※令和3年4月から、事務局が市街地整備課へ変更となりました。

【QRコード】



地区のなりたち（明治17年(1884年)頃）



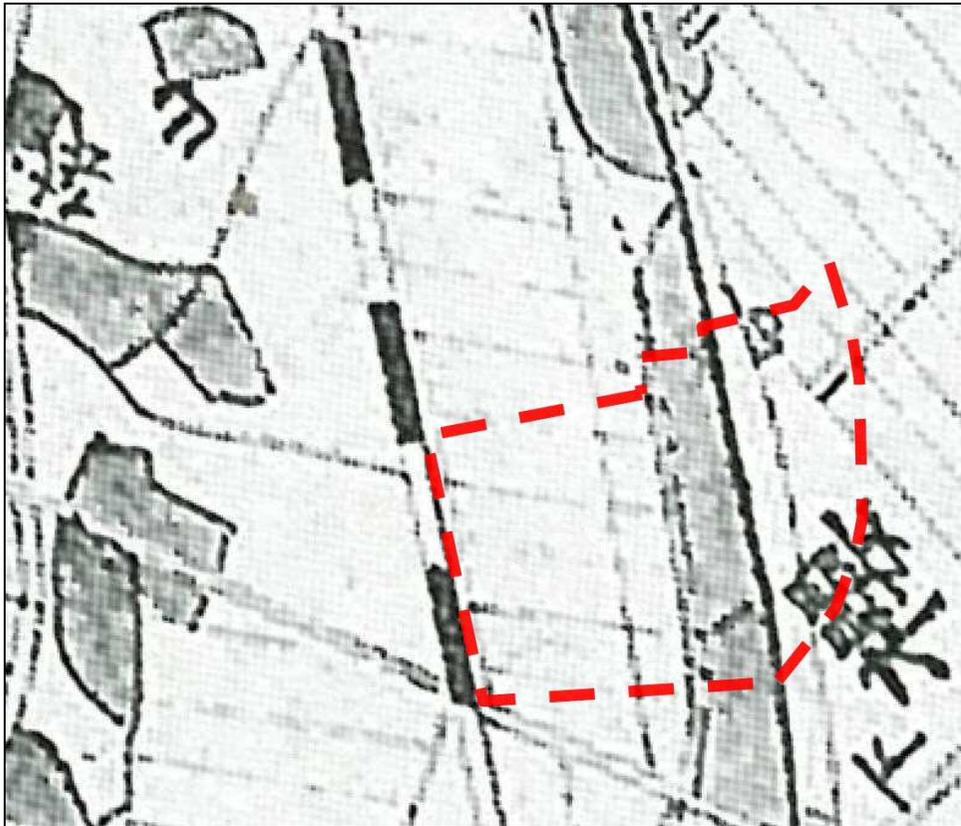
左の図は、明治13年から明治17年にかけて作成された「第一軍管地方2万分1迅速測図原図」に記載された、現在の大袋駅東口周辺の地図です。

駅周辺にはまちなみが形成されておらず、大袋駅の東側には、元荒川の旧河道の跡に営まれた田畑が広がっています。

また、旧日光街道沿いに家が立ち並んでいます。旧日光街道は、今でも概ねこの通り道筋が残っていて、当時と変わらず家が立ち並んでいる道です。

出典：農研機構農業環境変動研究センター

地区のなりたち（大正6年(1917年)頃）



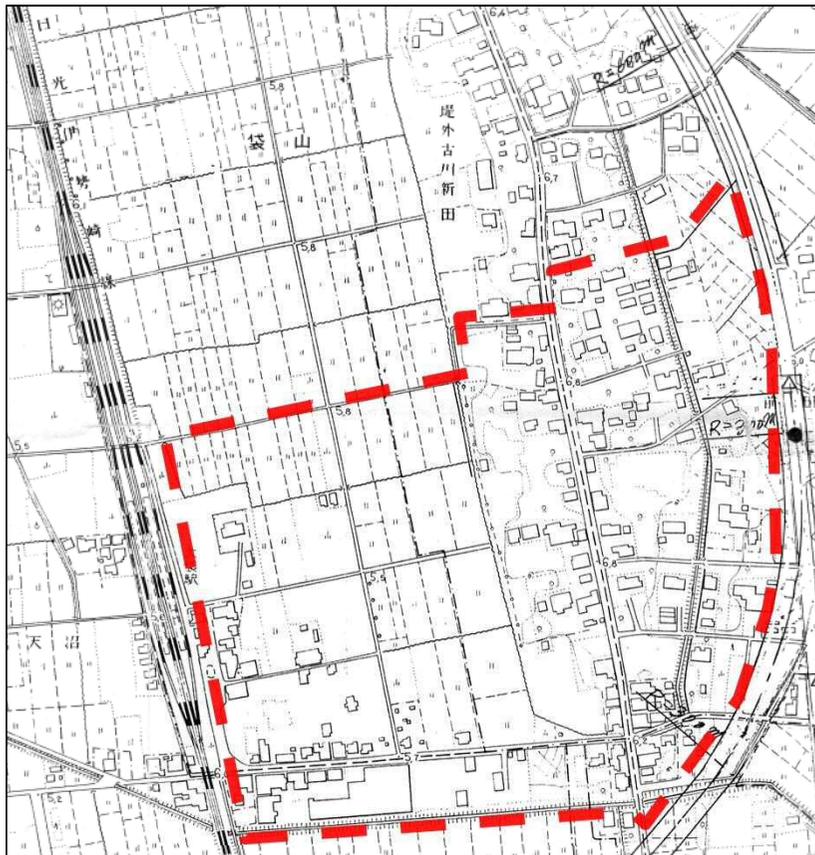
出典：新方領耕地整理事業竣工記念誌

左の図は、新方領耕地整理事業が完了した大正6年頃の大袋駅東口周辺の地図です。

東武鉄道により、明治32年（1899年）に北千住から久喜間の営業を開始されたことに伴い、現在の大袋駅周辺に鉄道が運行されるようになったものの、大袋駅は開業されておらず、線路周辺には明治の頃と変わらない農地が広がる地区でした。

この耕地整理により、それまでの旧態依然とした農地から、成形された耕作しやすい農地に生まれ変わっています。この成形された農地を基盤に、大正15年（1926年）の大袋駅の開業後は宅地化が進むこととなります。

地区のなりたち（昭和39年(1964年)頃）



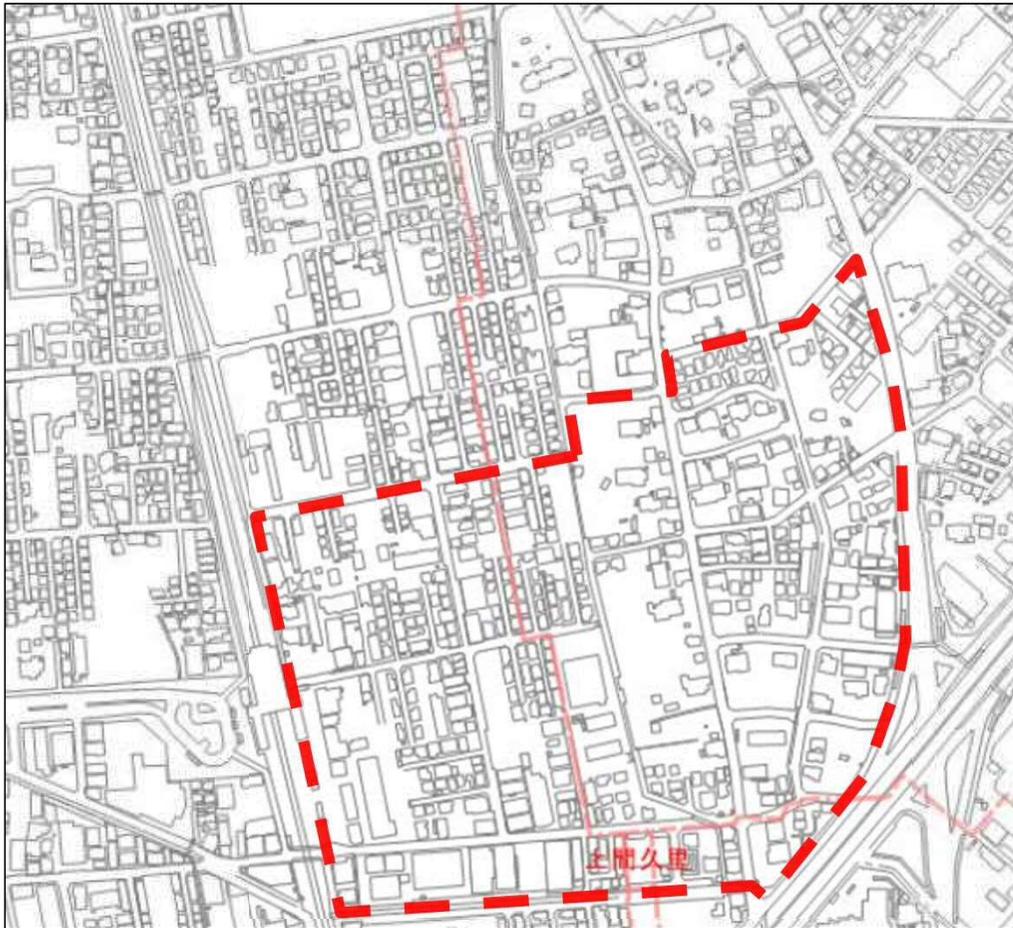
出典：越谷市都市計画図（昭和39年）

左の図は、昭和39年頃の越谷市都市計画図に記載された、現在の大袋駅東口周辺の地図です。

大正15年（1926年）10月1日に大袋駅が開設されて以来、約40年が経過した時点での大袋駅東口周辺の現況と、当時整備が予定されていた国道4号線が記載されています。

大正6年の地図と比べると、約50年近く経過しており、駅の開業により駅周辺の宅地化が進むとともに、駅通りが開通したことで、駅の東西交通が円滑化されています。また、旧日光街道沿いの宅地についても、東西に拡大してきていることがわかります。

地区のなりたち（令和3年(2021年)頃）



左の図は、令和3年時点の大袋駅東口周辺の地図です。

大袋駅が開設された大正15年（1926年）の開設以来90年以上経過が経過し、駅の東口周辺に多くの建物が立ち並んでいます。また、旧日光街道周辺の宅地には、古くからの街並みが残っており、歴史的な街道筋であることが感じられます。

さらに、大袋駅周辺については、平成25年（2013年）の大袋駅の改修を受け、橋上改札化に伴い橋上自由通路が整備されたことから、従来の地下通路と踏切に加えて、橋上自由通路による往来が歩行者に対して確保されました。